

学部 / 人間科学領域 / 社会の理解

科目コード : 110210

# 保健医療福祉論 Law of Health, Medicine and Welfare

担当教員	南 陸男				
実務経験					
開講年次	2年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	医療と法律、保健と法律、福祉と法律				
学習目的・目標	この講義では、保健、医療、福祉に関連した関係法規と制度の基礎知識や基礎理論について学習する。看護学生は、医療サービスの内容や技術について学ぶことも大切であるが、これらのサービスは、法律によって根拠づけられ、規制されているということの重要さと必要性を理解すること。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	1. 医療・保健・福祉の概念と法体系				
2-4	2. 医療関係法規等 医療法、医療計画、病院機能報告制度、地域医療構想、保健師助産師看護師法				
5-11	3. 保健関係法規等 ・地域保健法、健康増進法 ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）、特定感染症指針、 新型インフルエンザ特別措置法、感染症サーベランス体制、予防接種法 ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、母子保健法、母胎保護法、 がん対策推進基本計画、がん登録の推進に関する法律、肝炎対策基本法 学校保健安全法				
12-14	4. 社会福祉、社会保険関係法規等 社会福祉法、児童福祉法、老人福祉法、障害者総合支援法、介護保険法、高齢者の医療の確保に関する法律				
15	まとめ				
教科書	授業は資料、スライド等を使って進めます。				
参考図書等	森山幹夫著「看護関係法令（最新版）」（医学書院）「国民衛生の動向（最新版）」（厚生労働統計協会） 「国民福祉と介護の動向」（厚生労働統計協会）				
評価指標	記述試験により評価（90%）。受講態度（10%）も考慮する。				
関連科目	法と社会、社会福祉論				
教員から学生へのメッセージ	医療は医療分野にとどまらず、福祉・介護、保健、生活衛生分野等と密接に関わっています。これらの法制度と関連施策を理解することで、皆さんが将来活躍する場、仕事を社会的な観点から理解して下さい。				